

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE



富岳通運株式会社

2024年8月30日
山梨県

株式会社 NEXT DELIVERY
セイノラストワンマイル株式会社
富岳通運株式会社

山梨県、株式会社 NEXT DELIVERY、セイノラストワンマイル株式会社、富岳通運株式会社が 山梨県におけるフェーズフリーな地域物流インフラの構築に向けた連携協定を締結 ～県民生活や地域経済基盤の強靱化を目指して～

山梨県（知事：長崎幸太郎）と株式会社 NEXT DELIVERY（本社：山梨県小菅村、代表取締役：田路圭輔、以下 NEXT DELIVERY）、セイノラストワンマイル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：河合 秀治、以下 セイノラストワンマイル）および富岳通運株式会社（山梨県甲府市、代表取締役：浅沼 克秀、以下富岳通運）は、2024年8月28日に、山梨県におけるフェーズフリーな地域物流インフラの構築に向けた連携協定を締結いたしました。

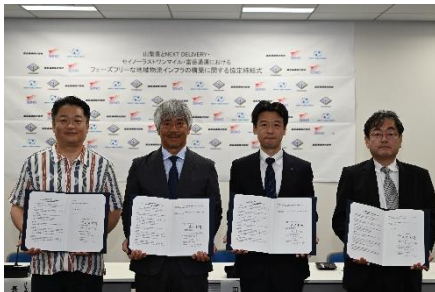
NEXT DELIVERY の親会社である株式会社エアロネクスト(以下 エアロネクスト)とセイノホールディングス株式会社（以下 セイノHD）は、トラックや軽バン等の陸上配送にドローン輸送を組み合わせる物流を効率化する新スマート物流^{*1}SkyHub^{®*2}を、山梨県の第1期実証実験サポート事業による試験的運用を経て、2021年10月から日本で初めて小菅村にて社会実装し、現在では北海道上士幌町や福井県敦賀市をはじめ全国10ヶ所で展開しています。

その後 NEXT DELIVERY、セイノHD、富岳通運等は、2024年問題対策として各社のリレー方式で物流の効率化を図る共同配送を、2023年8月から小菅村・丹波山村においていち早く開始しています。中山間地域の物流において、大手物流会社含む複数社での共同配送を実施する事業は全国でも珍しい事例です。

富岳通運は、2022年8月に山梨県と災害時における山梨中央ロジパークの施設使用に係る連携協定を締結するとともに、県下27市町村と災害時の連携協定を締結しています。

エアロネクストと NEXT DELIVERY は、2024年1月に起きた能登半島地震において、孤立集落・避難所へのドローンによる医薬品の物資輸送を国内で初めて実施した経験を踏まえ、平時、有事を問わず、ドローンを活用したフェーズフリー型統合ソリューションの構築が必須であり、そのためにはこれまで推進してきた新スマート物流 SkyHub[®]が基盤になりえると考え、国や自治体と前向きな会話を始めています。

今回、4者が相互の連携・協力により、山梨県における2024年問題など平常時の地域の物流ネットワークの強化や買い物弱者対策、並びに災害時の被災地への迅速な物資輸送を可能とするフェーズフリーな地域物流インフラの構築を促進し、県民生活や地域経済基盤の強靱化を図ってまいります。



写真向かって左より山梨県知事 長崎幸太郎、NEXT DELIVERY 代表取締役 田路圭輔、セイノラストワンマイル 代表取締役社長 河合秀治、富岳通運 代表取締役 浅沼 克秀



小菅村のドローン配送の様子



2023年8月に実施した共同配送
出発式の様子
(道の駅こすげ)

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

<連携協定の概要>

1. 締結日 2024年8月28日

2. 協定の目的

本協定は、山梨県におけるフェーズフリーな地域物流インフラの構築を促進し、もって県民生活や地域経済基盤の強靱化に資することを目的とする。

3. 協定の内容

上記目的を達成するため、以下の事項について相互に連携・協力する。

- (1) 2024年問題など地域の物流課題の解決に関すること
- (2) 災害時の物資輸送など防災インフラづくりに関すること
- (3) その他、目的を達成するために必要な事項

8月28日に実施された連携協定締結式において、代表4者が以下のとおりコメントしています。

<山梨県知事 長崎幸太郎のコメント>

NEXT DELIVER、セイノーラストワンマイル、富岳通運の3者の皆さまと連携協定を締結することができ、心より感謝申し上げます。

山梨県小菅村での実証実験からスタートした「新スマート物流」は、すでに全国各地に展開されており、このたびのフェーズフリーな地域物流インフラの構築は、山間部など人口減少エリアを数多く抱える本県にとって、非常に重要な課題であります。

また、先般の「南海トラフ地震臨時情報」を機に災害への備えを見直すなかで、ドローンの活用が非常に有効なものと改めて認識したところです。

このたびの協定は山梨県にとっても大変意義深いものであり、3社の皆さまと県民生活の強靱化に向けた取り組みを加速して参ります。

<NEXT DELIVERY 代表取締役 田路 圭輔のコメント>

2021年1月に小菅村にNEXT DELIVERYを設立し、ドローン配送をスタートしたのも山梨県、共同配送をスタートしたのも山梨県で、山梨県は様々な新スマート物流の取り組みの起点になってきました。この度、山梨県とこのような新たな取り組みをスタートできることを本当に光栄に思います。地元の運送会社様との連携をベースにして、平常時と緊急時をフェーズフリーに活用できる地域物流インフラを構築していく今回のプロジェクトを全都道府県に拡げていきたいと思っております。

<セイノーラストワンマイル代表取締役社長 河合 秀治のコメント>

セイノーHDは、幹線輸送の強みを活かしたラストワンマイル配送領域において、生活様式の変化や構造変化に対応すると共に、買い物弱者対策、生活困窮家庭対策等の社会課題解決型ラストワンマイルの構築を積極的に推進・拡大しております。山梨県小菅村、丹波山村においては、物流会社が抱える2024年問題や地域課題に対して、富岳通運様をはじめとする物流各社様と連携して共同配送を構築、また、この配送インフラを緊急時は物資輸送に活用できるしくみとしています。今後も同じ課題をもつ全国の地域にこの小菅・丹波山モデルを展開し、住民の皆様が持続的に安心して暮らせる環境づくり、住民サービスの維持、向上を進めてまいります。

<富岳通運 代表取締役 浅沼 克秀のコメント>

提携協定を契機に、更なる地域の物流ネットワーク構築及び課題解決に向けた取り組みを協同して参りますのでよろしくお願い致します。



挨拶する山梨県知事 長崎幸太郎



挨拶する NEXT DELIVERY 代表取締役 田路 圭輔

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE



挨拶するセイノラストワンマイル
代表取締役社長 河合 秀治



挨拶する富岳通運 代表取締役
浅沼 克秀

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

山梨県 知事政策局 新事業チャレンジ推進グループ (担当: 齊藤)

Tel: 055-223-1514 Email: challenge@pref.yamanashi.lg.jp

株式会社エアロネクスト/株式会社 NEXT DELIVERY 広報部 (担当: 伊東)

Tel: 03-6455-0626 Email: info@aeronext.com

セイノラストワンマイル株式会社 グループ経営企画室 (担当: 丸山・伊藤)

Tel: 03-3667-0990 Email: t-maruyama@slo.co.jp

富岳通運株式会社 甲府支店 (担当: 秋山)

Tel: 055-241-4451 Email: akiyama@fugaku.co.jp

資料

*1 新スマート物流

物流業界が共通に抱える人手不足、環境・エネルギー問題、DX化対応、等の課題を、デジタルやテクノロジーを活用しながら解を探究し、人々の生活に欠かせない生活基盤である物流を将来にわたって持続可能にするための官民での取り組み。ラストワンマイルの共同配送、陸送・空送のベストミックス、貨客混載、自動化技術、等々、業界内外の壁を越えたオープンパブリックプラットフォーム (O.P.P.) による共創で実現を目指す。

*2 新スマート物流 SkyHub®

エアロネクストとセイノHDが共同で開発し展開する、既存の陸上輸送とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれた、オープンかつ標準化したプラットフォームで、ドローンデポ®を拠点に、車とドローンを配送手段として、SkyHub®TMSをベースに、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送、SkyHub®Delivery (買物代行)、SkyHub®Eats (フードデリバリー)、SkyHub®Medical (医薬品配送) など、地域の課題やニーズに合わせたサービスを展開、提供する。

SkyHub®の導入は、無人化、無在庫化を促進し、ラストワンマイルの配送効率の改善という物流面でのメリットだけでなく、新たな物流インフラの導入であり、物流 2024 年問題に直面する物流業界において、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、住民の利便性や生活クオリティの向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能になり、地域活性化を推進するうえでも有意義なものといえる。

【山梨県とは】

山梨県は日本のほぼ真ん中に位置しており、富士山をはじめとした山々に囲まれた自然豊かな山紫水明の地です。江戸時代には東西の要衝として歌舞伎の新作の試演が行われたり、明治時代には鉄道や電力など今の日本の礎を築いた実業家「甲州財閥」が登場するなど、元来から進取の気性を有する地域です。

そんな山梨県にリニア中央新幹線が開通すると、東京・品川と約 25 分、名古屋と約 45 分で結ばれ、国内外との飛躍的なアクセス向上が見込まれます。この好機を最大限に生かすため、スタートアップの実証実験を全面的にサポートするなど、可能性を追求する幅広い方々と連携し、共に未来を切り開いていくことに挑戦しています。

*詳細は https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/index.html をご覧ください。

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

【株式会社 NEXT DELIVERY とは】

エアロネクストグループのミッション「人生 100 年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ」に基づき、2021 年に山梨県小菅村に設立されたドローン配送を主事業とするエアロネクストの戦略子会社。エアロネクストとセイノーHD が共同で開発し展開する、既存物流とドローン物流を繋ぎこんだ新しい社会インフラとなる新スマート物流の仕組み SkyHub®の企画運営、全国展開を推進しており、共同配送とドローン配送に関わるハード及びソフトウェアの開発、販売、運用及び保守事業等の周辺事業も展開しています。山梨県小菅村を皮切りに、北海道上士幌町、福井県敦賀市等、全国各地で地域物流の効率化と地域社会の課題解決に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/> をご覧ください。

【セイノーラストワンマイル株式会社とは】

セイノーラストワンマイル株式会社は 2024 年 4 月にセイノーホールディングスの子会社として誕生しました。「ラストワンマイル」と言われる“お客様にとって物流サービスの最後の接点”となる領域は今後もさらに拡大すると予測されており、「お客様のご要望に柔軟にお応えできるように」と新たに設立する運びとなりました。現代の日本における物流課題は多岐にわたり、具体的には買い物弱者問題、過疎地域問題、荷物再配達の問題、宅配クライシス問題などが挙げられます。セイノーラストワンマイル株式会社は、それらの社会課題に対してビジネスの手法を使ってアプローチしていく「社会課題解決型ラストワンマイル」を担っています。

*会社概要は <https://slo.co.jp/company/> をご覧ください。

【富岳通運株式会社とは】

富岳通運は、明治 34 年 8 月創立、昭和 19 年に、JR 中央線上野原駅から笹子駅までの 6 駅及び富士急行線各駅の小運送業者 14 社が、戦時統合令によって合併し設立されました。当初は通運業が主体でしたが、昭和 30 年代の後半から道路交通網の発展と共に、順次自動車輸送事業に進出してまいりました。更に、地場輸送を拡充するとともに路線事業につきましても東京路線、名古屋路線、大阪路線、神奈川路線と営業拠点を拡大してまいりました。また、近年は倉庫事業、流通事業、警備業の各分野の充実を図り、県下最大手の輸送業者として山梨県と全国を結び、多様な物流ニーズに応え今日に至っております。

*会社概要は <http://www.fugaku.co.jp/company/index.html> をご覧ください。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。